

2018年度 インフラツーリズム 「天ヶ瀬ダム及び再開発事業の見学とガイドによる宇治散策ツアー」 開催報告

タイトル	2018年度 インフラツーリズム 「天ヶ瀬ダム及び再開発事業の見学とガイドによる宇治散策ツアー」
企画実施	株式会社JTB
特別企画	公益社団法人土木学会関西支部
協力	国土交通省近畿地方整備局淀川ダム統合管理事務所、国土交通省近畿地方整備局琵琶湖河川事務所、鹿島建設株式会社、大成建設株式会社、大林・飛鳥特定建設工事共同企業体、宇治市商工観光課、宇治観光ボランティアガイドクラブ
日時	2018年11月3日(土・祝) 9:20～17:00
参加者数	64名

■はじめに

土木学会関西支部市民幹事会では、より多くの方に土木の世界を知ってもらい、より身近に感じてもらえる機会を提供するべく、これまでの一般市民対象の見学会を、2015年度から旅行会社とコラボレーションし、インフラツーリズム(土木観光)として開催しています。

本年度は「天ヶ瀬ダム及び再開発事業の見学とガイドによる宇治散策ツアー」と題して、淀川ダム統合管理事務所、琵琶湖河川事務所、大成建設、鹿島建設、大林・飛鳥特定建設工事共同企業体、宇治市商工観光課、宇治観光ボランティアガイドクラブのご協力を得て、JTBと土木学会関西支部でツアーを企画実施しました。

今回のツアーでは、天ヶ瀬ダムの施設や再開発事業の効果や役割についての専門のスタッフによる説明を聞き、普段入ることができない場所や、今しか見ることができない迫力のある工事現場を見学いただくとともに、ボランティアガイドの案内により、世界遺産の平等院鳳凰堂や宇治上神社など、宇治市内の散策もお楽しみいただきました。

■天ヶ瀬ダム

はじめに淀川ダム統合管理事務所の方からダムの歴史や役割などをフライヤーとパネルを用いて説明していただきました。

その後、ダム施設を見学しました。堤頂道路からダム中央のゲート機械室を通り、上流側の管理用通路に出て、ダム湖の眺めを楽しみました。そして、再び堤頂道路にもどり、点検管理用通路であるキャットウォークを歩いてダム底部の減勢工まで降りて、ダムを間近から見学しました。

キャットウォークではダム壁面や、点検放流中のゲート真上を歩き、ダムの大きさ、放流の勢いを体感し、その迫力に圧倒された参加の皆さまからは、感動の声が聞かれました。

■天ヶ瀬ダム再開発事業

はじめに琵琶湖河川事務所の方からダム再開発事業の目的や概要を資料とパネルを用いて説明していただきました。

その後、流入部、ゲート室部及び減勢池部の各工事現場に移動し、各工事の説明を受けて、現場を見学しました。各工事を担当する大成建設、鹿島建設、大林・飛鳥特定建設工事共同企業体の方から資料、パネル、モニター等を用いて、建設中の構造物の役割や機能、大きさや高さ、また、使用する材料や施工機械・設備、施工の方法や手順など、一般的な規模の工事との比較や、厳しい現場条件の中で工事を可能にする最先端の技術の紹介も交えながら、説明いただきました。

今しか見ることが出来ない現場を間近から見学することができました。

どの現場も参加された皆さまからの色々な質問に対して、丁寧に分かりやすく説明いただき、再開発事業についての理解が深まったと思います。

■参加の皆さまへ

この度は、インフラツーリズム「天ヶ瀬ダム及び再開発事業の見学とガイドによる宇治散策ツアー」にご参加いただきありがとうございました。皆さまのご協力により無事にツアーを終えることができましたこと、心より御礼申し上げます。

皆さまよりいただいたご意見につきましては、今後の学会行事や企画に活用させていただきます。

土木学会では、今回のような見学会を年に2回程度(小中高生対象、インフラツーリズム)企画しております。

また、皆さまに、ご参加いただき、再度お会いできる日を楽しみにしております。

ご参加いただきありがとうございました！

■見学先関係者の皆さま

インフラツーリズムの開催にあたり、淀川ダム統合管理事務所、琵琶湖河川事務所、大成建設、鹿島建設、大林組・飛鳥建設JV、宇治市商工観光課及び宇治観光ボランティアガイドクラブの皆様におかれましては、事前準備や当日の安全管理、案内、誘導から、各種施工方法、施工機械・設備などの説明に至るまで、安全で楽しいツアーとなるよう様々なご配慮と多大なるご協力をいただき、本当にありがとうございました。

今回のインフラツーリズムを成功裏に開催できましたこと、あらためまして感謝申し上げます。

参加の皆さまからは、「楽しかった」「わかりやすかった」等多くの感想をいただいております。

今後とも土木学会活動に、ご支援ご協力の程、宜しくお願い申し上げます。

2018年度 インフラツーリズム 「天ヶ瀬ダム及び再開発事業の見学とガイドによる宇治散策ツアー」 開催報告

■説明



▼参加者を乗せたマイクロバスが天ヶ瀬ダム管理支所に到着。



▼午前の見学では、淀川ダム統合管理事務所の菊池建設専門官より天ヶ瀬ダムの説明を受けました。



▼午前の見学では、琵琶湖河川事務所の西田総括保全対策官より天ヶ瀬ダム再開発事業の説明を受けました。



▼午後の見学では、淀川ダム統合管理事務所の加藤管理課長より天ヶ瀬ダムの説明を受けました。



▼午後の見学では、琵琶湖河川事務所の西田総括保全対策官より天ヶ瀬ダム再開発事業の説明を受けました。

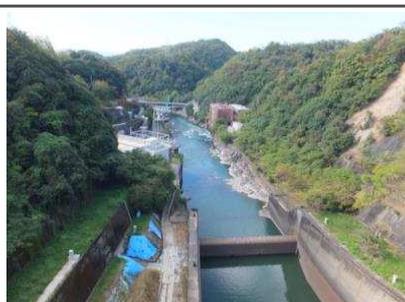


▼お土産に、ダムカード、アマサイカードをいただきました。

■ダム施設見学(その1)



▼天ヶ瀬ダムの見学スタート。これからダム堤頂道路を通り、キャットウォークを降りて、下の減勢工まで移動しました。



▼堤頂道路から下流側の眺めです。左岸側に手前から関西電力の発電所、ダム再開発事業の減勢池部の工事現場と白虹橋を見ることができました。



▼ダム中央の機械室に入り、ダム湖側の管理用通路に移動しました。



▼管理用通路からダム湖を見学しました。堤頂道路に戻り、キャットウォークに向かいました。



▼減勢工に向かって、キャットウォークを移動しました。



▼高低差50m、約250段の階段を上り下りました。

■ダム施設見学(その2)



▼減勢工に到着しました。



▼減勢工から間近に見るドーム型アーチ式の天ヶ瀬ダムは大迫力！



▼ゲート点検放流も間近で見学することができました。



▼減勢工から放流中のゲートの真上と通って、スタート地点に戻りました。



▼キャットウォークの途中では、参加者全員で記念撮影を行いました。



▼ダムを背景に淀川ダム管理事務所の職員が作成されたインスタパネルで記念撮影を行いました。

■流入部工事現場見学



▼はじめに大成建設の水野所長よりパネルと資料を使って、流入部の工事の説明を受けました。



▼工事の方法や、今回の工事で使用している資材について、一般的な工事と比較しながら、その大きさや量を説明いただきました。



▼説明を聞きながら、工事のヤード上から流入部の工事現場を見学しました。



▼ヤードからは工事現場やダム湖が見渡せました。



▼ヤード上から見学して、工事の規模の大きさがよく分かりました。



▼規模が大きいため、使用した鋼材、鉄筋、コンクリートなどの量はケタ違いです。

■ゲート室部工事現場見学

		
<p>▼はじめに鹿島建設の宝田所長よりゲート室部の工事の説明を受けました。</p>	<p>▼モニターと資料を使って、ゲート室の工事の方法や手順を説明いただきました。</p>	<p>▼完成後のゲート室内の形状などの説明や、ゲートの操作なども紹介いただきました。</p>
		
<p>▼説明を聞きながら、地上からゲート室部を見学しました。</p>	<p>▼下を覗き込むようにして、ゲート室部の大きさ、深さを体感することができました。</p>	<p>▼ゲート室部の現在の工事状況です。据え付けられたメインゲートを見ることができました。</p>

■減勢池部工事現場見学

		
<p>▼はじめに大林組・飛鳥建設JVの村上所長より減勢池部の工事の説明を受けました。</p>	<p>▼パンフレットを使って、工事の方法や手順を説明いただきました。</p>	<p>▼トンネルの中に入って見学しました。</p>
		
<p>▼トンネルの奥では、大きな断面の部分を見学しました。</p>	<p>▼施工機械・設備を間近で見学しました。</p>	<p>▼トンネルの大きさを体感することができました。</p>